

外国につながる児童生徒のための 地域別 ことばの力の 評価ワークショップ

岐阜県開催

このワークショップでは、外国につながる児童生徒の「ことばの力」をどのように引き出し、どのように捉えて評価するかの方法（スキル）の習得をめざします。

外国につながる児童生徒に日本語指導や教科学習支援を行っている方、DLAのスキルアップをしたい方をはじめ、これから外国につながる児童生徒にかかわる活動に参加してみたい、という方も、歓迎いたします。

〈ワークショップの内容〉

文部科学省発行「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」（2014）の

「聞く・話す」と「読む」について、

- ① 実際の公立小中高校に通う外国につながる児童生徒にDLAを実施している映像（1本約30分、計6本）を視聴しながら、
- ② 開発中（2025年末以降に公開予定）の能力記述文（CAN-DOリスト）にそって児童生徒が「できること」を確認していきます。

〈ご参加にあたってのお願い〉

本事業の「評価ツールの妥当性の検証へのご協力（*）」に加えて、以下の4点をお願いします。

- ① 終日及び開催が2日間に渡る場合は両日ご参加いただける方を優先いたします。参加費は無料です。
- ② 使用映像の年齢枠が同じワークショップへのご参加は1回とします。
- ③ ワークショップは日本語で行うため、グループでの作業や話し合い等に支障がない程度の日本語力が必要です。
- ④ ワークショップではGoogleフォームを活用した入力作業を行いますので、各自でwifi対応のスマートフォンやタブレット、ノート型パソコンなどのご準備が必要です。

■開催日時※開催は「対面」です。

本会場では「14歳以上」の年齢枠の映像を用います。小・中学生の指導にかかわる方も参加可能です。

2023年11月23日（木祝） & 11月26日（日） 両日共に10:00～17:00

*ファシリテーター小島祥美（東京外国語大学）、佐野愛子（立命館大学）

■場所

可児市多文化共生センター フレビア 〒509-0203 岐阜県可児市下恵土1185-7
0574-60-1122 名鉄犬山線「新可児」駅 / JR太多線「可児」駅下車 連絡通路徒歩3分

■申し込み※参加無料です。定員に達し次第締切となります。

申込フォームまで：<https://forms.gle/3AzsAd5399MAMoCw6>



■ワークショップに関するお問合せ

NPO法人可児市国際交流協会（担当：各務） npokiea@ma.ctl.ne.jp / 0574-60-1200
または事業事務局まで。

*本調査研究とワークショップについて

東京外国語大学は、文部科学省から「日本語能力評価方法の改善のための調査研究」事業を受託し、児童生徒の日本語能力を評価するとともに、日本語指導の目標や指導内容決定の基礎となる能力記述文（CAN-DOリスト）を作成しています。

そこで、本事業の一環として東京外国語大学多言語多文化共生センターでは、文化的言語的に多様な背景をもつ外国につながる児童生徒のための「〈地域別〉ことばの力の評価ワークショップ」を、全国各地で活躍されている活動者（コーディネーター）の方々と共に企画しました。

なお、ワークショップ参加者の皆さんに確認していただいた能力記述文（CAN-DOリスト）のデータを基に、私たちは評価ツールの妥当性の検証を行い、子どもの言語能力の公正な評価の枠組みの構築をめざします。この事業によって、外国につながる児童生徒の義務教育段階から高校段階へのスムーズな進学を後押しするとともに、日本語指導が必要な児童生徒が抱えることばの発達や公立高校における中退率の高さなどの課題解決に貢献できると、私たちは確信しています。

2023年度文部科学省委託事業「日本語能力評価方法の改善のための調査研究」事業推進委員長
小島 祥美（東京外国語大学准教授 / 多言語多文化共生センター長）

〈本事業に関するお問合せ：事業事務局まで〉

東京外国語大学 多言語多文化共生センター（担当：増谷、小段） hyouka-chousa@tufs.ac.jp 042-330-5908（平日9時～17時）